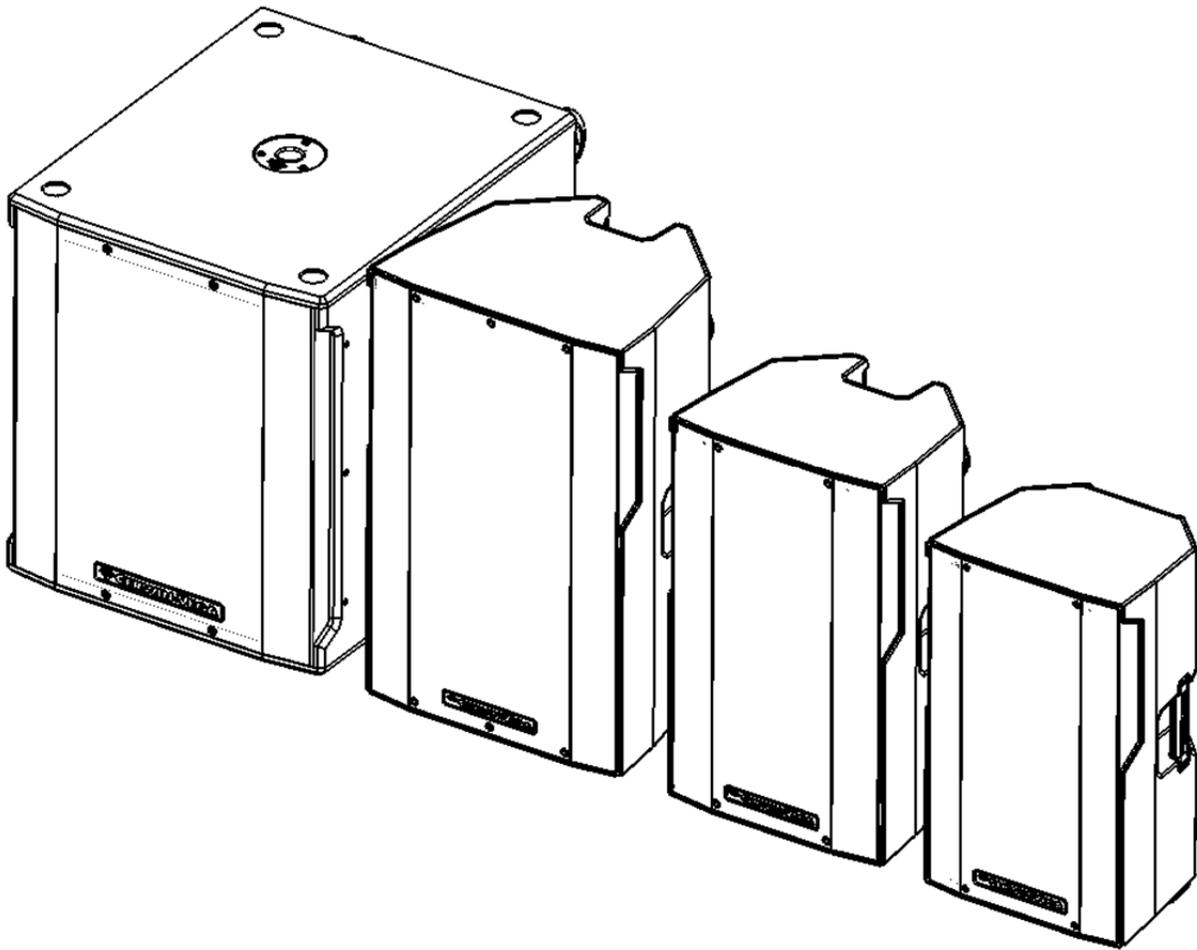


**CVE-シリーズ・マニュアル**



**CVE-10、CVE-12、CVE-15、および CVE-18s**  
**パワード・ラウドスピーカー**

取扱説明書（日本語）

怪我を避けるために、スピーカーをご使用になる前に取り扱いの説明と安全のための注意のすべてをお読みください。  
安全の注意を守らない場合、火事、感電、その他の怪我、またはスピーカーや他の所有物への損害を引き起こす可能性があります。

## 目次

安全上の留意項目.....	3
法規認証.....	6
はじめに.....	7
お使いの前に.....	7
クイックスタート.....	8
ラウドスピーカーの置き方.....	8
リアパネル－ミキサー－CVE-10、CVE-12、CVE-15.....	9
リアパネル－ミキサー－CVE-18s.....	10
CVE-10/12/15 をフロア/ステージモニターとして使用.....	12
使用例 1－CVE-10、CVE-12、CVE-15 を 1 台使用.....	14
使用例 2－「MIXED OUTPUT」を使用して 2 台目の CVE-10、CVE-12、CVE-15 を接続.....	15
使用例 3－チャンネル出力を使用して CVE-18s を CVE-10、CVE-12、CVE-15 に接続.....	16
使用例 #4－デージーチェーン.....	17
使用例 #5－広い会場/フロント・オブ・ハウス.....	18
壁/天井マウント CVE トップ.....	19
保護グリル.....	20
トラブルシューティング.....	21
手入れとメンテナンス.....	23
ケーブル接続.....	23
保証.....	25
保証サービスを得るには.....	27

## 安全上の留意項目

 注意:正三角形の中に矢印付き稲妻マークが入った表示は、ユニットのエンクロージャー内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをユーザーに警告するためのものです。

 警告:正三角形の中に感嘆符が入った表示は、製品に付属する書類の中で、取り扱いとメンテナンス（サービス）の上で重要な項目であることをユーザーに警告するためのものです。



 注記:正三角形の中に手が入った表示は、ユニットの操作に関する具体的なガイダンスと情報をユーザーに通知するものですから、ユニットを初めて使用する前によくお読みください。

 注意:火事または感電のリスクを少なくするために、カバーを外したり、ユニットを開封したりしないでください。中にはユーザーが修理するようなパーツは一切ありません。修理は資格のあるサービスエンジニアにお任せ下さい。

-  a) 本製品を接続または使用する前に、すべての安全および操作指示を読んでそれに従ってください。
- b) この取扱説明書は将来にも参照できるように大切に保管してください。
- c) ユニットおよびその梱包に関するすべての警告を読んでそれに従ってください。

 注意:火事または感電のリスクを減らすために、本製品を雨、水分、したたり、しぶきにさらさないでください。液体が入っている物（花瓶やコップなど）をユニットの上に置かないでください。浴槽やプールなどの水の近くで本製品を使用しないでください。クリーニングの前には電源プラグを壁のコンセントから抜いてください。シンナー、クリーニング液、溶剤、化学雑巾を絶対に使用しないでください。クリーニングには常に乾いた柔らかい布を使用してください。稲光が光ったり、長期間使用しないときは、ユニットの電源コードを抜いてください。

 注意:このユニットはユニットの通気機構が妨げられることのないような場所や位置に置かれる必要があります。例えば、換気孔を塞ぐ可能性のあるベッド、ソファ、ラグマットなどの表面に置かないでください。通気孔やファンアセンブリを通る airflow を妨げかねない作りつけ家具（書棚またはキャビネットなど）の中に置かないでください。ユニットは、ラジエーター、熱交換設備、ストーブその他の熱を発生させる器具（アンプも含む）から離して置くようにしてください。火をつけたろうそくのような裸火をユニットの上または近くに置かないでください。

 警告:ユニットを不安定な表面、カート、スタンド、三脚台、ブラケット、またはテーブルの上に置かないでください。ユニットが落下して人が重傷を負ったり、ユニットが深刻な損傷を受けることがあります。製造者が推奨するカート、三脚、ブラケット、台のみを使用してください。装置を壁や天井に取り付ける場合は、製造者の指示を守り、製造者が推奨する取付用アクセサリを使用する必要があります。器具をカートとコンビで使用する場合は注意して移動させる必要があります。急な停止をする、過度の力を加える、起伏のある場所に置くことにより、製品とカートのコンビがひっくり返る恐れがあります。カートを使用する場合、カート/ユニットを一緒に移動している際に転倒させてけがをしないように注意してください。



 注記:ユニットが修理できないほど損傷したり、寿命に達した場合、お住まいの地域のエレクトロニクス製品の廃棄の規定を確認してください。

 注記:サーウィンベガでは、ユニットまたはユニットでの使用のために提供されたアプリケーションの不適切な使用を原因とする損傷に対して責任を負うことはできません。

 器具は保護接地接続（アース）のある電源ソケットに接続する必要があります。

## 安全上の留意項目（続き）



1. ユニットと電源は、ユニットの背面に表示されている電圧と周波数に一致する電源コンセントにのみ接続してください。
2. 電源ケーブルの上を歩いたり挟まないようにしてください。特に、プラグ、コンセント、およびユニットのケーブル出口で電源ケーブルを保護してください。
3. 有極プラグまたはアース端子付きプラグの安全目的を損なわないようにしてください。有極プラグには 2 個の端子があり、片方の端子が他方の端子より幅広となっています。接地タイプのプラグには、安全のために2本の端子とアースピン（3本目）があります。付属のプラグがコンセントに合わない場合は、電気工事士に相談して、不適切なコンセントを交換してください。
4. 本製品に付属の電源プラグにヒューズが組み込まれている場合、それと同じかそれよりも低い破断電流値のヒューズとのみ交換してください。
5. 破損したり擦り切れた電源ケーブルは絶対に使用しないでください。感電して死亡する恐れがあります。
6. 長時間使用しない場合は、ユニットの電源コードをコンセントから抜いてください。
7. 製造者が指定したアタッチメント/アクセサリのみを使用してください。
8. 電源入力を完全に切るには、スピーカーの電源プラグが本管に接続されていない必要があります。
9. ユニットの電源プラグは、使用中に容易にアクセスできるようにその周囲から障害物をよけておいてください。



本ユニットを自分で修理することを試みないでください。アフターサービスについては、有資格のサービス技術者にお問い合わせください。

修理が必要となった場合、交換されるパーツがオリジナルパーツと同じ特徴を備えていること、器具が安全な動作状態にあることを保証するための安全チェックのルーチン作業が行なわれていることを確認してください。



適正でないパーツで交換されると、火災、感電その他の危険が引き起こされる可能性があります。



次のいずれかの場合が発生した場合は、有資格のサービス技術者からアフターサービスを受けてください。

- 電源コードまたはプラグに損傷がある場合、
- ユニットの上に物体が落ちた場合、または液体がこぼれてユニットに入った場合、
- ユニットが雨やその他の液体にさらされた場合、
- ユニットが正常に動作しない、または性能に大きな変化が見られる場合
- デバイスを落下させたり、外圍器が損傷した場合。



長時間強い直射日光が当たる所にスピーカーを置かないでください。短期間でドライバーのサスペンションが乾燥して、仕上げ面が劣化することがあります。



スピーカーには高感度の構成部品があります。スピーカーに、落下させる、分解する、開封する、押しつぶす、曲げる、変形する、穴をあける、電子レンジに入れる、焼く、色を塗るといった作業をしたり、スピーカーに異物を挿入してはいけません。



本スピーカーは、容易に、回復不能な聴覚障害を引き起こすほど大きな音圧レベル（SPL）を発生することができます。90 dB(A)を超える音圧レベルに長時間さらされることを避けるように注意する必要があります。



-20℃～55℃（-4°～131°F）の場所でスピーカーを使用・保管してください。低温または高温の場合、スピーカーが一時的に動作を停止することがあります。スピーカーを使用する際は、スピーカー内に結露が発生するのを防ぐために、気温や湿度を急激に変化させることを避けてください。



潜在的に爆発性雰囲気を持つエリアではスピーカーを OFF にしてください。そのようなエリアで火花を生じさせると、深刻な怪我や死までも引き起こす結果になる爆発または火災を引き起こしかねませんので、すべての表示や指示を守ってください。潜在的に爆発性雰囲気を持つエリアは表示されていることが多いものの、いつも明確に表示されてい

るとは限りません。これには、給油所、空気中に化学物質または粒子（穀物粉塵や金属粒子など）を含む場所、ボートのデッキ下、化学物質移動保管施設などが含まれます。

 スピーカーには、小さな子供が窒息する危険となるような小さなパーツがあります。スピーカーとそのアクセサリを小さな子供の手の届かない所に置いてください。

## 法規認証

Cerwin-Vegaは、単独責任において、本宣言が適用される製品が、以下の基準に準拠していることを保証します。



適合宣言書は次の会社から入手することができます。 Gibson Europe BV - Kamerlingh Onnesweg, 2 - 4131 PK Vianen - The Netherlands Tel:+31 347 32 40 10 - Fax:+31 347 32 40 15

本装置は、FCC（米国連邦通信委員会）規則第15章の内容に準拠しています。取り扱いは以下の2つの条件を守って行なわれる必要があります：(1) 本装置が有害な干渉を引き起こさず、(2) 本装置が、誤動作を引き起こす恐れのある干渉を含めて、いかなる干渉を受けても耐えること。

FCC ID : 2AL2V-PL0001 – CVE-10/12/15 ; FCC ID : 2AL2V-PL0001 – CVE-18s



**警告:** 準拠の責任がある当事者による明示的な承認なしに本ユニットに変更または修正が加えられた場合、本機器を取り扱うユーザーの権限が無効になる場合があります。



**注記:** 本機器は、テストされ、FCC（米国連邦通信委員会）規則第15章に従った、クラス B デジタル機器に対する制限に準拠することがわかっています。

これらの制限は、住宅への設置における有害な干渉に対して合理的な保護を提供するためのものです。本機器は、高周波エネルギーを生成、使用し、発散する可能性を持っており、設置および使用が説明書にしたがって行なわれない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす場合があります。しかし、特定の設置において干渉が起こらないという保証はありません。本機器がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こし、それが機器をOFFまたはONにすることに左右される場合、以下の措置のひとつまたはいくつかを取ることによって、干渉を修正することを勧めます。

- 受信アンテナの向きや位置を変更する。
- 機器と受信機との距離を離す。
- 機器を受信機が接続されているものとは別の回路のコンセントに接続する。
- 販売代理店または経験あるラジオ・テレビ技術者に相談する。

このクラス B のデジタル装置は、カナダの ICES-003 に準拠しています。

## はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。Cerwin-Vega ファミリーをご購入いただき、ありがとうございます。あなたは、Cerwin-Vega! を最も進んだオーディオ再生システムにすることに貢献したオーディオ専門家たちの成長グループに仲間入りされました。Cerwin-Vega の全製品には、弊社の性能の仕様に合致または超えることを保証するために、徹底したテストがおこなわれています。業界最高のサービスに支えられて、Cerwin-Vega は品質と信頼性を第一としています。Cerwin-Vega の製品とサービスの概要については、[www.cerwin-vega.com](http://www.cerwin-vega.com) をご覧ください。

## お使いの前に

本書では、CVE-10、CVE-12、CVE-15（以後「トップ」と称する）、CVE-18（以後「サブ」と称する）の各 CVE シリーズのアクティブスピーカーについて説明します。これらのスピーカーは、携帯機器（三脚スタンドまたはポールマウントに取り付けたり、床、ステージなどの安定面したプラットフォームに直接積み重ねるなど）および固定設置物（17 ページに示されている壁/天井マウントアクセサリを使用して取り付けるなど）として使用するよう設計されています。湿気によって電気接点が腐食し、スピーカーのコーンやサラウンドが損傷する可能性があるため、これらのスピーカーは、高湿度環境や屋外環境に常設しないでください。Cerwin-Vega では、本書に記載のサブウーファーモデルをつるさないようお勧めしています。

Cerwin-Vega スピーカーは非常に大きな振動エネルギーを発生させることがあります。磨かれた木やリノリウムなど滑りやすい場所に置かれると、スピーカーは自らの機械振動のために動くことがあります。運転中にスピーカーがステージやテーブルから落ちないように注意してください。

CVE-18s サブウーファーには、標準のスピーカーポールシャフトを使用してサテライトスピーカーを取り付けるためのレセプタクルカップが同梱されています。標準のスピーカーポールシャフトを使用する際には次のような用心事項を守ってください。

- 一般的なポールスタンドとポールシャフトが使用できます。取付サービスについては、ポールスタンドやポールシャフトの製造者に有資格のサービススタッフの紹介を得るようにしてください。不適切なアクセサリを使用したり、不適切な設置を行うことは危険です。
- スピーカーポールシャフトの仕様をチェックし、使用するスピーカーの重量を支えることができるよう設計されていることを確認してください。
- スピーカーポールシャフトの製造者が指示している安全のための用心事項のすべてを守ってください。
- 必ずサブウーファーを水平で安定した平面に置いてください。
- 歩いている人がつまづかないようにケーブルを配線してください。
- 風のある屋外の状況では、装置全体の安定性が脅かされる場合がありますので、常に用心を怠らないようにしてください。

## クイックスタート

以下の手順では、1 台のスピーカーを設定および使用方法を簡単に説明しています。よくあるセットアップは同じ基本ステップから構成されます。

ステップ 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ラウドスピーカーのプラグをコンセントから抜きます。</li> <li>✓ 電源スイッチが OFF の位置になっていることを確認してください。</li> <li>✓ LEVEL つまみを最低レベルにします（反時計回り位置に回しきる）。</li> </ul>
ステップ 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ スピーカーを所定の場所に置きます。</li> <li>✓ 外部ソースであるオーディオ機器の出力をラウドスピーカーの入力に接続します。外部ソース機器に電源が入れられ、正常の出力レベルに設定されていることを確認します。</li> </ul>
ステップ 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 電源コードをラウドスピーカーに接続し、AC 電源コンセントに差し込みます。</li> <li>✓ 電源スイッチを ON にし、DSP モード LED インジケーターが点灯していることを確認します。</li> <li>✓ 音量が希望のレベルになるまで LEVEL つまみをゆっくり回します。音が出ない場合、外部ソース機器が音声出力をしているかどうかをチェックしてください。</li> </ul>
注意	<p>スピーカーの使用を終えたら、まず電源スイッチを OFF 位置にしてから、ケーブルを抜いたり外部ソースオーディオ機器の電源を切ってください。</p>

## ラウドスピーカーの置き方

- マイクを直接スピーカーに向けると、ハウリング（大きな音）が発生します。スピーカーをフロアモニターの位置に置く際には、マイクの前面から離すか、マイクの真後ろに配置してください。
- ターンテーブルと一緒に使用する場合は、振動でターンテーブルの性能や機能が劣化しないように、スピーカーの配置に注意してください。
- ラウドスピーカーを部屋の隅や壁に沿って置くことは避けてください。さもないと、低音が強調され、音が濁ったり再生音が劣化します。
- スピーカーを中空構造のステージに直接に置くことは避けてください。ラウドスピーカーを三脚または頑丈な台に置く方が好ましいです。
- 人間の体は特に高周波音声を吸収する場合がありますので、ラウドスピーカーは聴衆の耳の高さから 2～4 フィート（約 61～122 センチ）上にある場所に置く必要があります。これにより、観衆全員が最高の音質で音楽を聴くことができます。

## リアパネル – ミキサー – CVE-10、CVE-12、CVE-15

### DSP MODE SELECT

このモード選択ボタンでは、5つのEQプリセットのいずれかを選択できます。

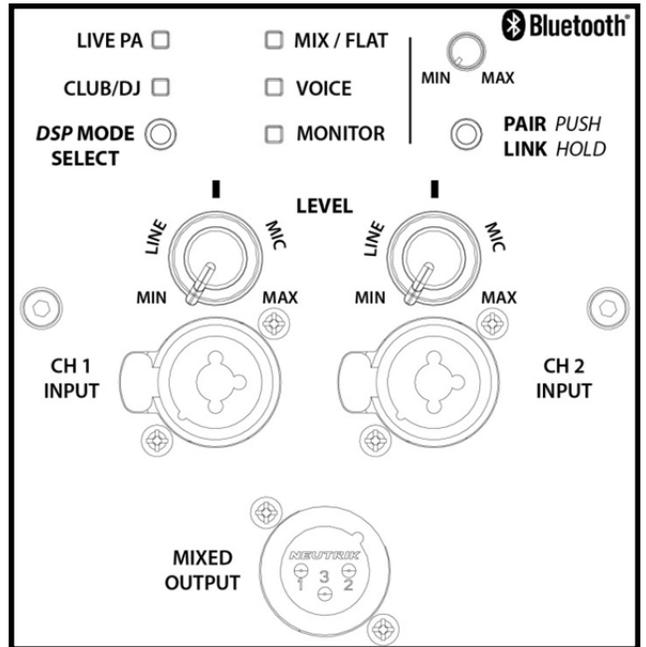
**LIVE PA** – このモードはライブ音楽サウンドに最適です。このモードでは、深みがありバランスの取れた低音が再生されます。

**CLUB/DJ** – このモードでは、サブ周波数の忠実度が向上しパンチが加わります。主に EDM、ポップ、ヒップホップなどの音楽スタイルの再生に使用されます。

**MIX/FLAT** – 全周波数帯にわたってバランスが取れ、低音の深みが増します。このモードは、ライブイベントでミキシングをする際に適しています。

**VOICE** – このモードではボーカルの明瞭度が向上するので、チャンネル入力のいずれかに一般的なダイナミックマイクを直接接続する場合に最適です。

**MONITOR** – システムをマイク付きのステージモニターとして使用する場合にこのモードを使用します。このモードでは、モニターミックスでハウリングが起きやすい周波数でバランスをとりソフトな音質にします。



### BLUETOOTH

CVE シリーズは、トゥルーワイヤレスステレオ (TWS) Bluetooth 接続機能を備えています。CVE スピーカーとストリーミングデバイスをペアリングするには、「PAIR/LINK」ボタンを 1 回押します。

「PAIR/LINK」ボタンが青く点滅し始めると、スピーカーからビープ音が 2 回聞こえ、ストリーミングデバイスの使用可能な Bluetooth デバイスリストに、本スピーカーが表示されます。スピーカーが選択され、正常にペアリングされると、ビープ音が 1 回鳴り、「PAIR/LINK」ボタンが青色で点灯します。

CVE スピーカーを 2 台接続するには、既にストリーミングデバイスとペアリングされている最初のスピーカーの「PAIR/LINK」ボタンを長押しします。「PAIR/LINK」ボタンがオレンジ色に点滅し始めると、最初のスピーカーからビープ音が 2 回聞こえます。次に、2 台目のスピーカーの「PAIR/LINK」ボタンを長押しします。両方のスピーカーの「PAIR/LINK」ボタンが約 5 秒間オレンジ色で点滅した後、オレンジ色で点灯します。これは、両方のスピーカーが正常にペアリングされ、ストリーミングデバイスにリンクされていることを示しています。オーディオの再生中にいずれかのスピーカーの「PAIR/LINK」ボタンをダブルタップすると、リンクされたスピーカーをモノラルとステレオの間で切り替えることができます。

注記:Bluetooth レベルつまみで、Bluetooth オーディオ入力のレベルを調節することができます。ビープ音は、Bluetooth レベルを上げた場合にのみ聞こえます。オーディオの再生中は、CVE スピーカーのペアリング、ペアリング解除、リンクはできません。

### CH1 INPUT と CH2 INPUT

平衡 XLR/TRS ケーブル用の平衡入力です。ラインレベルとマイクレベルの信号を入力することができます。

## LEVEL

「CH1 INPUT」と「CH2 INPUT」の LEVEL つまみで、それぞれの入力信号のゲインレベルを調節します。LINE レベルまたはマイクレベルの入力に使用できます。LINE レベルを MIN（反時計回りに一杯回す）から中心クリック（真上）の間に調整します。MIC レベルを中心クリック（真上）から MAX（時計回りに一杯回す）の間に調整します。

## MIXED OUTPUT

この出力に別のパワードスピーカーまたは録音デバイスを接続すると、「CH1 INPUT」と「CH2 INPUT」と Bluetooth の混合信号が送出されます。各チャンネルの LEVEL つまみを変化させると、この出力も変化します。

## リアパネル – ミキサー – CVE-18s

### DSP MODE SELECT

このボタンで、2 つの EQ プリセットのいずれかが選択できます。

**LIVE PA** – このモードはライブ音楽サウンドに最適です。このモードでは、深みがありバランスの取れた低音が再生されます。

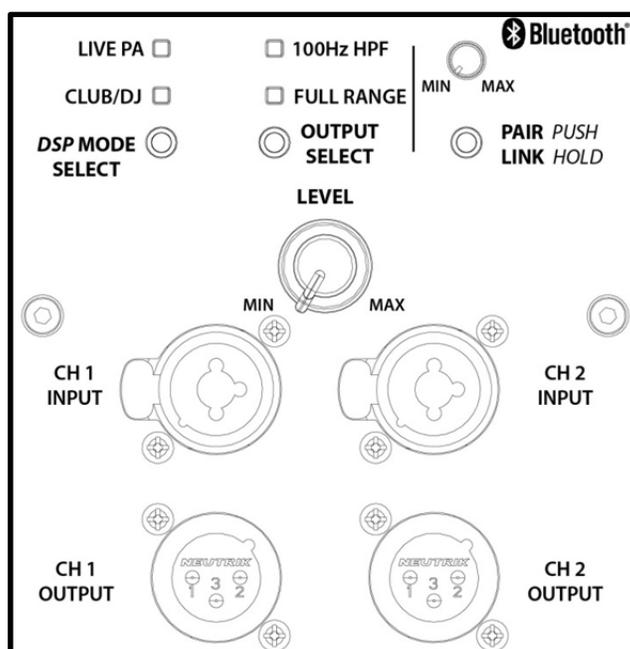
**CLUB/DJ** – このモードでは、サブ周波数の忠実度が向上しパンチが加わります。主に EDM、ポップ、ヒップホップなどの音楽スタイルの再生に使用されます。

### OUTPUT SELECT

このボタンで、2 つの周波数出力のうちのいずれかが選択できます。

**100Hz HPF** – ハイパスフィルターを通過した信号がトップボックスに送出されます。

**FULL RANGE** – 出力端子はフルレンジのままになります。



## BLUETOOTH

CVE シリーズは、トゥルーワイヤレスステレオ（TWS）Bluetooth 接続機能を備えています。CVE スピーカーとストリーミングデバイスをペアリングするには、「PAIR/LINK」ボタンを 1 回押します。「PAIR/LINK」ボタンが青く点滅し始めると、スピーカーからビーブ音が 2 回聞こえ、ストリーミングデバイスの使用可能な Bluetooth デバイスリストに、本スピーカーが表示されます。スピーカーが選択され、正常にペアリングされると、ビーブ音が 1 回鳴り、「PAIR/LINK」ボタンが青色で点灯します。

CVE スピーカーを 2 台接続するには、既にストリーミングデバイスとペアリングされている最初のスピーカーの「PAIR/LINK」ボタンを長押しします。「PAIR/LINK」ボタンがオレンジ色に点滅し始めると、最初のスピーカーからビーブ音が 2 回聞こえます。次に、2 台目のスピーカーの「PAIR/LINK」ボタンを長押しします。両方のスピーカーの「PAIR/LINK」ボタンが約 5 秒間オレンジ色で点滅した後、オレ

ンジ色で点灯します。これは、両方のスピーカーが正常にペアリングされ、ストリーミングデバイスにリンクされていることを示しています。オーディオの再生中にいずれかのスピーカーの「PAIR/LINK」ボタンをダブルタップすると、リンクされたスピーカーをモノラルとステレオの間で切り替えることができます。

注記:Bluetooth レベルつまみで、Bluetooth オーディオ入力のレベルを調節することができます。ピープ音は、Bluetooth レベルを上げた場合にのみ聞こえます。オーディオの再生中は、CUE スピーカーのペアリング、ペアリング解除、リンクはできません。

#### CH1 INPUT と CH2 INPUT

平衡 XLR/TRS ケーブル用の平衡入力です。ラインレベルの信号のみを受け付けます。

#### LEVEL

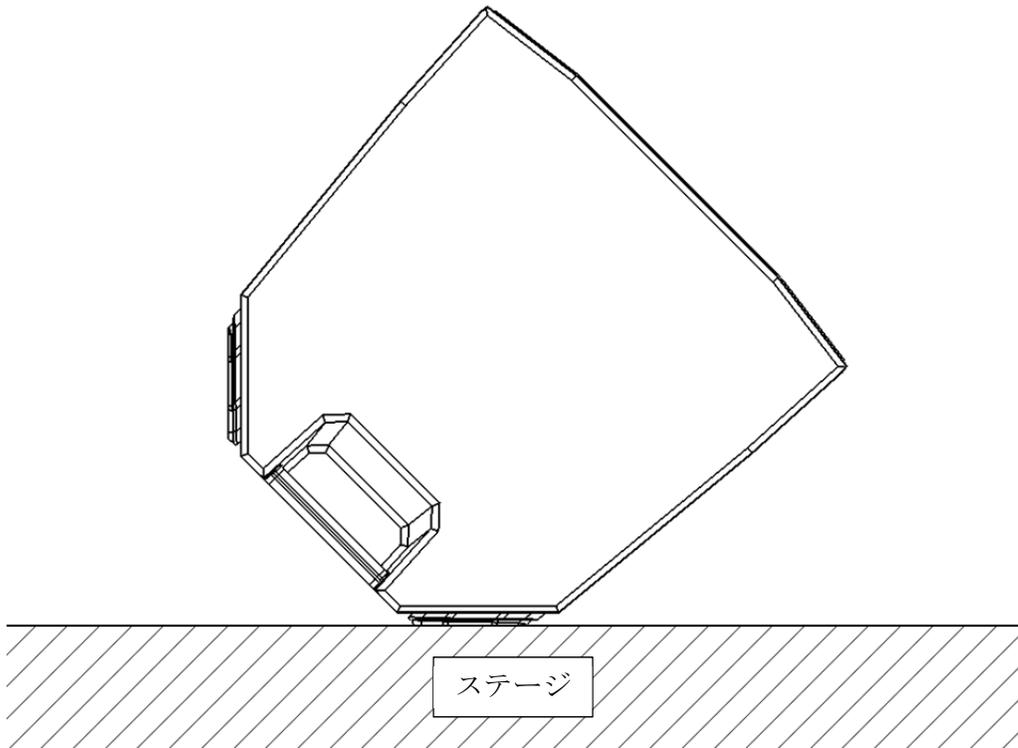
LEVEL つまみを回すと、全チャンネルのスピーカー出力レベルが均等に变化します。

#### CH1 OUTPUT と CH2 OUTPUT

「CH1 OUTPUT」と「CH2 OUTPUT」は、それぞれ、入力された Bluetooth 信号を「CH1 INPUT」または「CH2 INPUT」と混合して別のパワードスピーカーまたは録音デバイスに出力します。LEVEL ノブを変化させてもこれらの出力は変化しません。

## CVE-10/12/15 をフロア/ステージモニターとして使用

CVE-10、CVE-12、および CVE-15 は、以下のような向にしてフロアモニターとして使用できます。すなわち、演奏者に対して 45 度の固定角度に配置されます。この使用例では、ハウリングが発生しやすい周波数の音量を低減する **MONITOR** モードを使用するようお勧めします。歩く人がつまずきにくい位置にスピーカーとケーブルを配置してください。スピーカーとステージの間でケーブルが巻き付かないように、できれば、直角 XLR または 1/4 インチの直角ジャックを使用することをお勧めします。



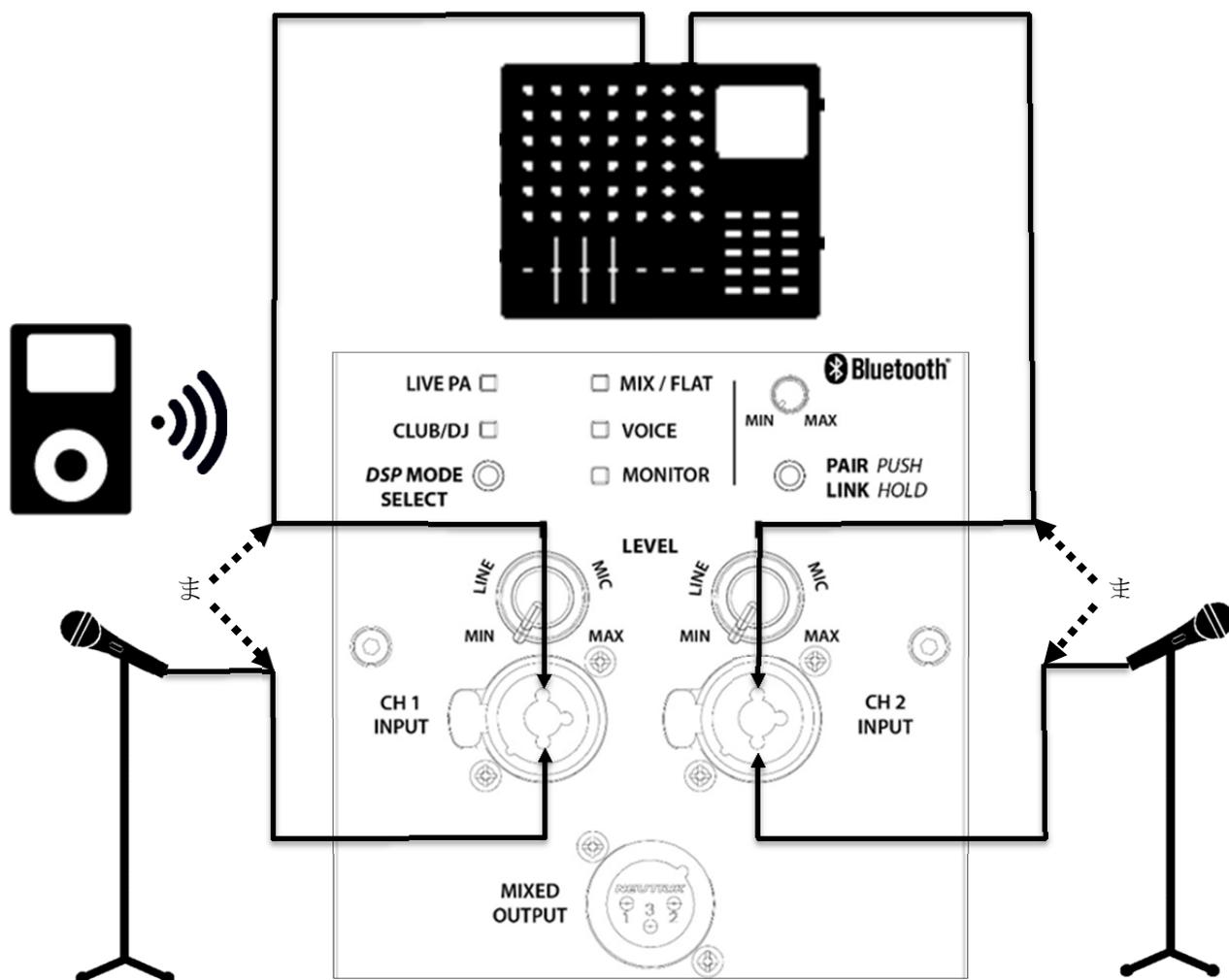
注意:スタンドやポールを使う際には以下のことを守ってください。



- ポールスタンドがラウドスピーカーの重量を支えることができることを確認してください。ポールスタンドの製造者が示した注意事項のすべてを守ってください。
- ポールスタンドは、脚を完全に伸ばした状態で水平な安定面に置いてください。ポールスタンドの脚は、つまずきの危険がないところに置く必要があります。
- 電源ケーブルおよびオーディオ信号ケーブルは、移動させたり引っ張ったときに人がつまずいたり、スピーカーを転倒させない場所に置いてください。
- ラウドスピーカーをポールに取り付ける前に、すべての危険箇所を点検して取り付けの強度や安全性に影響が出るようなひび割れ、変形、腐食、欠落がないことを確認してください。
- ラウドスピーカー用のポールスタンドのみを使用してください。
- 偶然に接触してしまうことを避けるために、ポールスタンドとラウドスピーカーを交通量の多いエリアに置くことを避けてください。
- 風が強い場所では、ポールスタンドベースに重し（サンドバッグなど）を追加して安定性を確保してください。ポールスタンドやスピーカーにバナーや看板や風船を取り付けしないでください。
- 機器の取り付けにあたっては、ライセンスを持つ専門のエンジニアに相談し、ラウドスピーカーと関連機器の安全性と取り扱いに関する、地方、州、国の規定が理解され、守られていることを確認してください。

## 使用例 1 – CVE-10、CVE-12、CVE-15 を 1 台使用

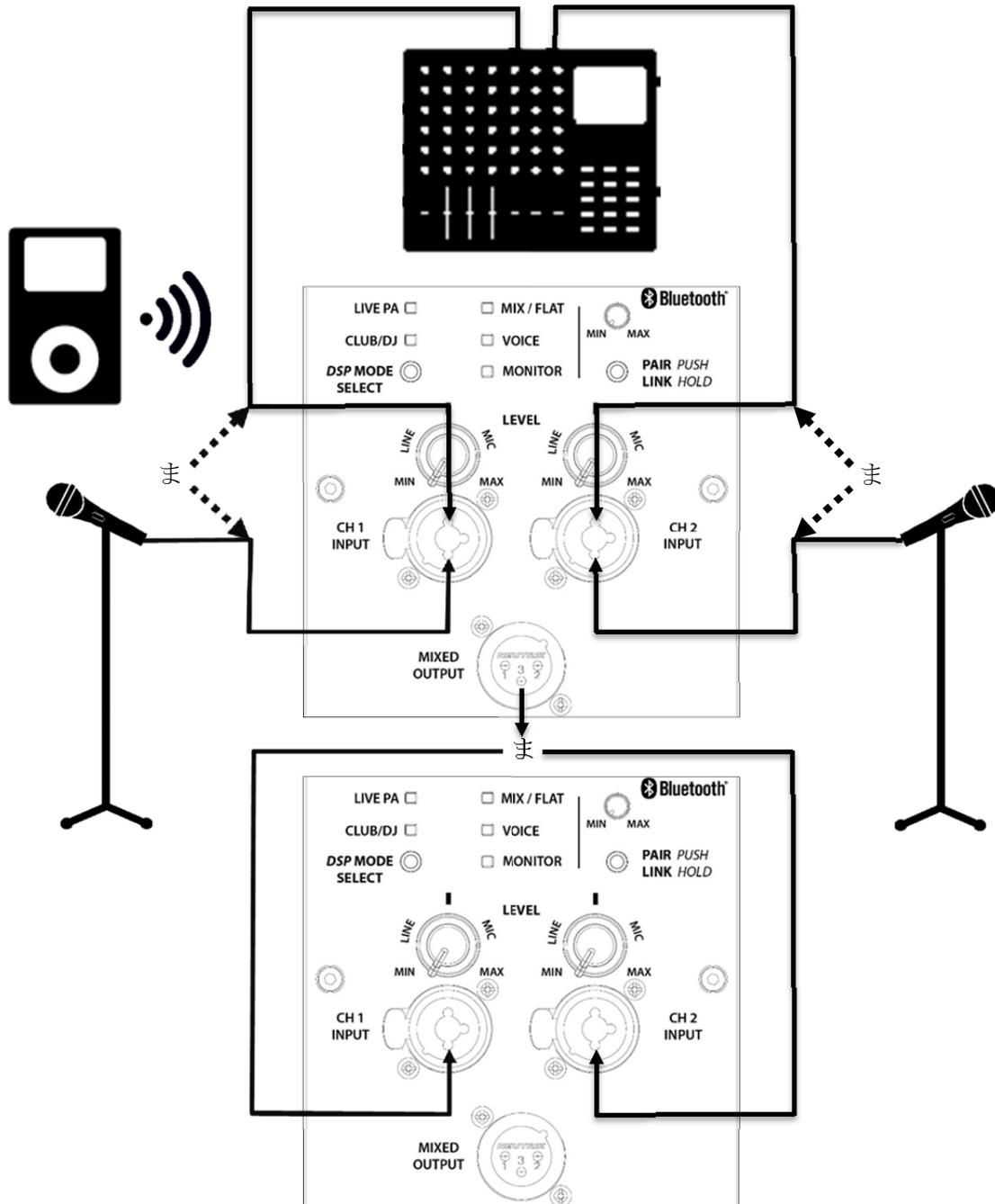
CVE-10、CVE-12、CVE-15 パワードスピーカーを 1 台使用すると、さまざまな演奏のサウンドを強化することができます。下の図は、ボーカルマイクとラインミキサーと Bluetooth™ストリーミングデバイスをすべて同時に使用した例を示しています。各チャンネルレベルを調整してチャンネル音量のバランスを取ることができます。また、Bluetooth™レベルつまみで Bluetooth™信号音量を独立して調整することができます。



入力	機器	ケーブルのタイプ
CH 1 INPUT	ミキシングコンソールまたはマイク	平衡 XLR または ¼ インチ TRS
CH 2 INPUT	ミキシングコンソールまたはマイク	平衡 XLR または ¼ インチ TRS
(Bluetooth™)	Media Player Bluetooth™ストリーミングデバイス	Bluetooth™ワイヤレス

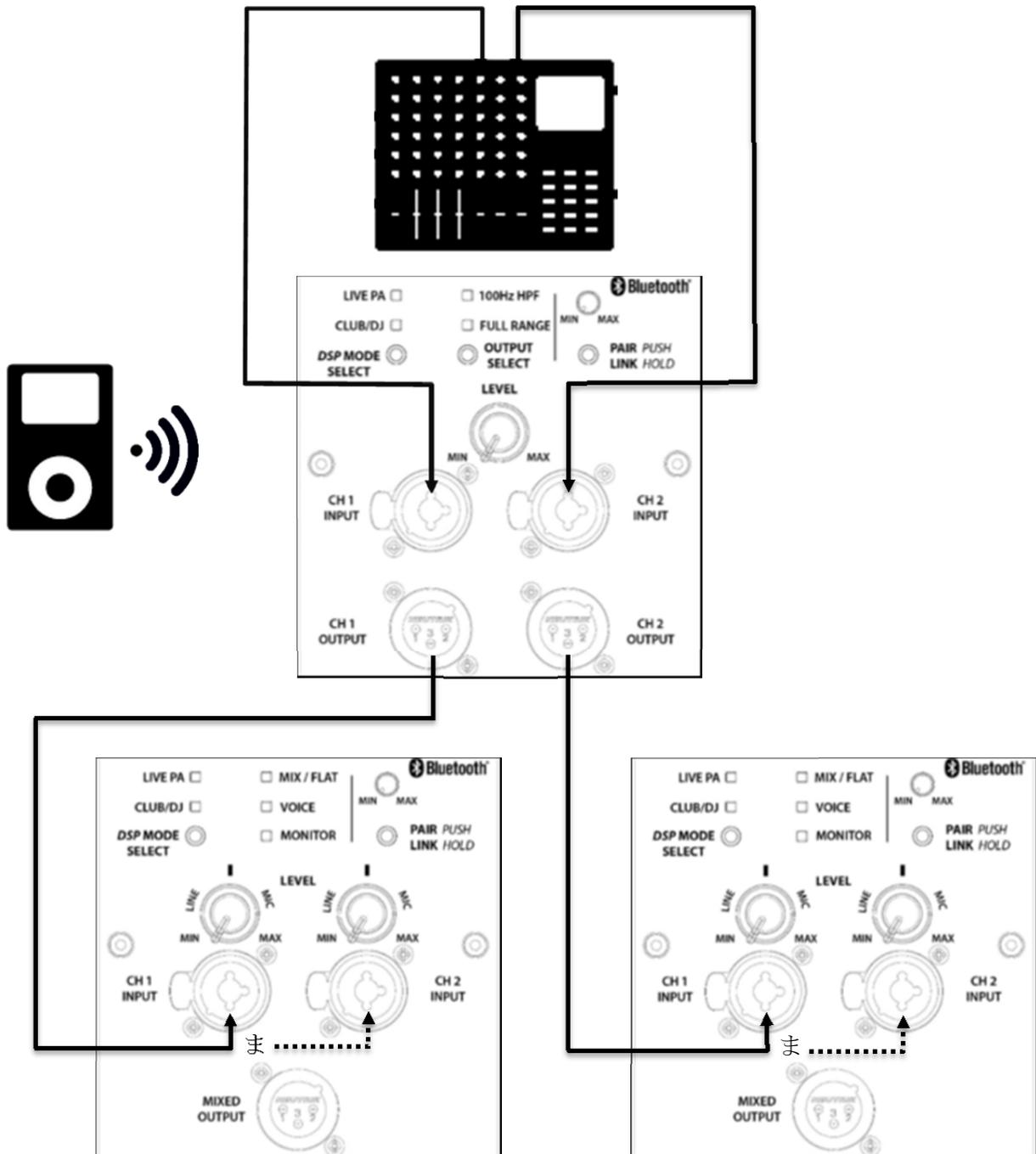
## 使用例 2 – 「MIXED OUTPUT」 を使用して 2 台目の CVE-10、CVE-12、CVE-15 を接続

2 台目の CVE-10、CVE-12、CVE-15 スピーカーは、標準の平衡 XLR ケーブルを使用して追加できます（下の例を参照）。観客数が多い場合や大きな音量が必要な場合は、2 台のスピーカーシステムを使用してください。2 台目の CVE-10、CVE-12、CVE-15 スピーカーを追加するには、1 台目のスピーカの「MIXED OUTPUT」を 2 台目のスピーカの「CH 1 INPUT」または「CH 2 INPUT」に接続します。次に、1 台目のスピーカで LEVEL を適切な設定値に調整します。1 台目のスピーカの LEVEL つまみで 2 台目のスピーカの音量は変更できないので、両方のスピーカの LEVEL つまみを同程度の設定に調整してください。



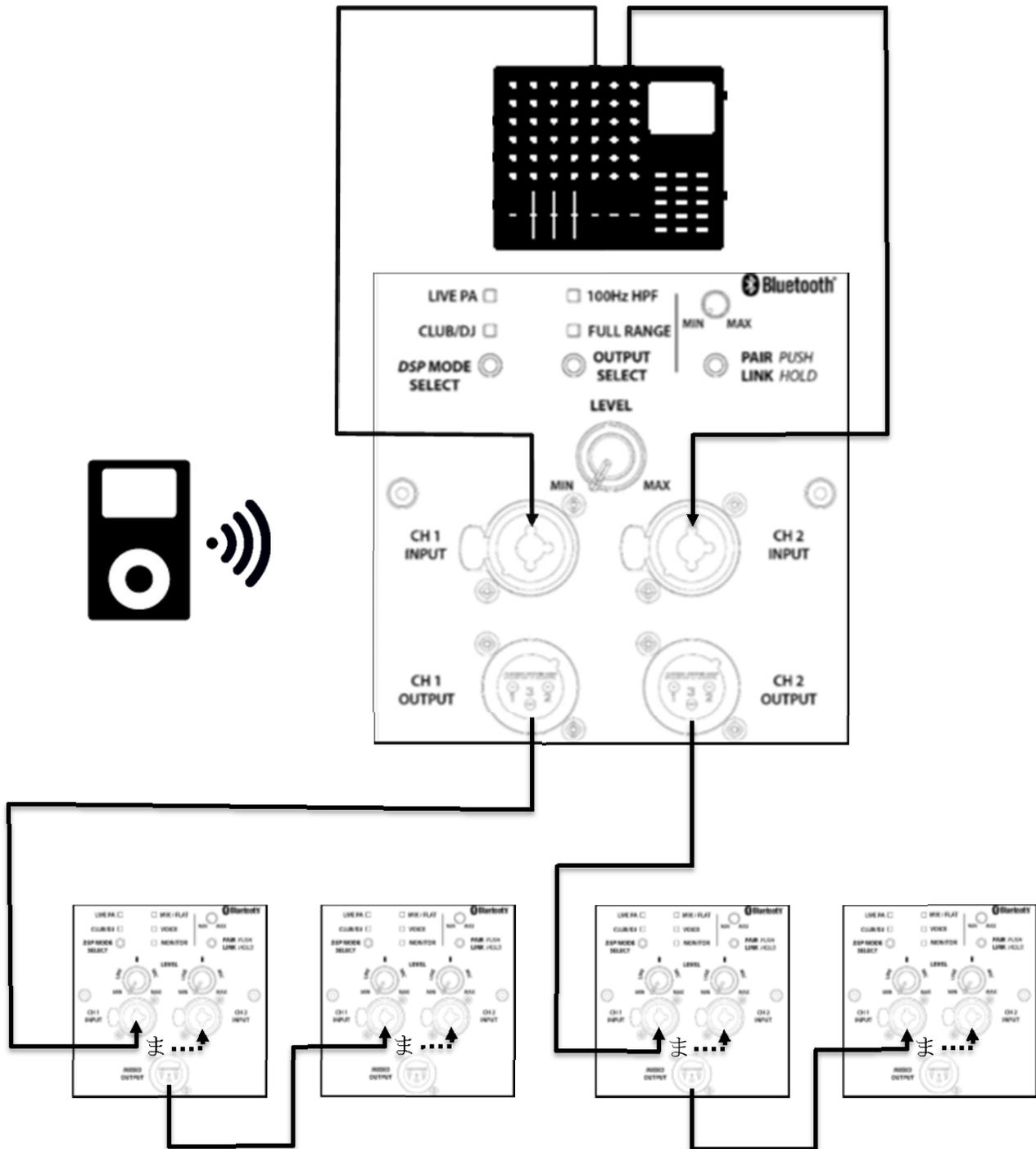
### 使用例 3 – チャンネル出力を使用して CVE-18s を CVE-10、CVE-12、CVE-15 に接続

低音を大きくしたい場合は、CVE-10、CVE-12、CVE-15 のペアに CVE-18s サブウーファーが追加できます。下図では、ラインミキサーが CVE-18 の「CH 1 INPUT」と「CH 2 INPUT」に接続され、Bluetooth™デバイスがオーディオをストリーミングしています。信号は CVE-18s の「CH 1 OUTPUT」と「CH 2 OUTPUT」を通じて各 CVE 上面の「CH 1 INPUT」（または「CH 2 INPUT」）に送られます。CVE-18s には、これらの信号をフルレンジで送ったり、もしくは 100Hz ハイパスフィルターを通過させるオプションがあります。



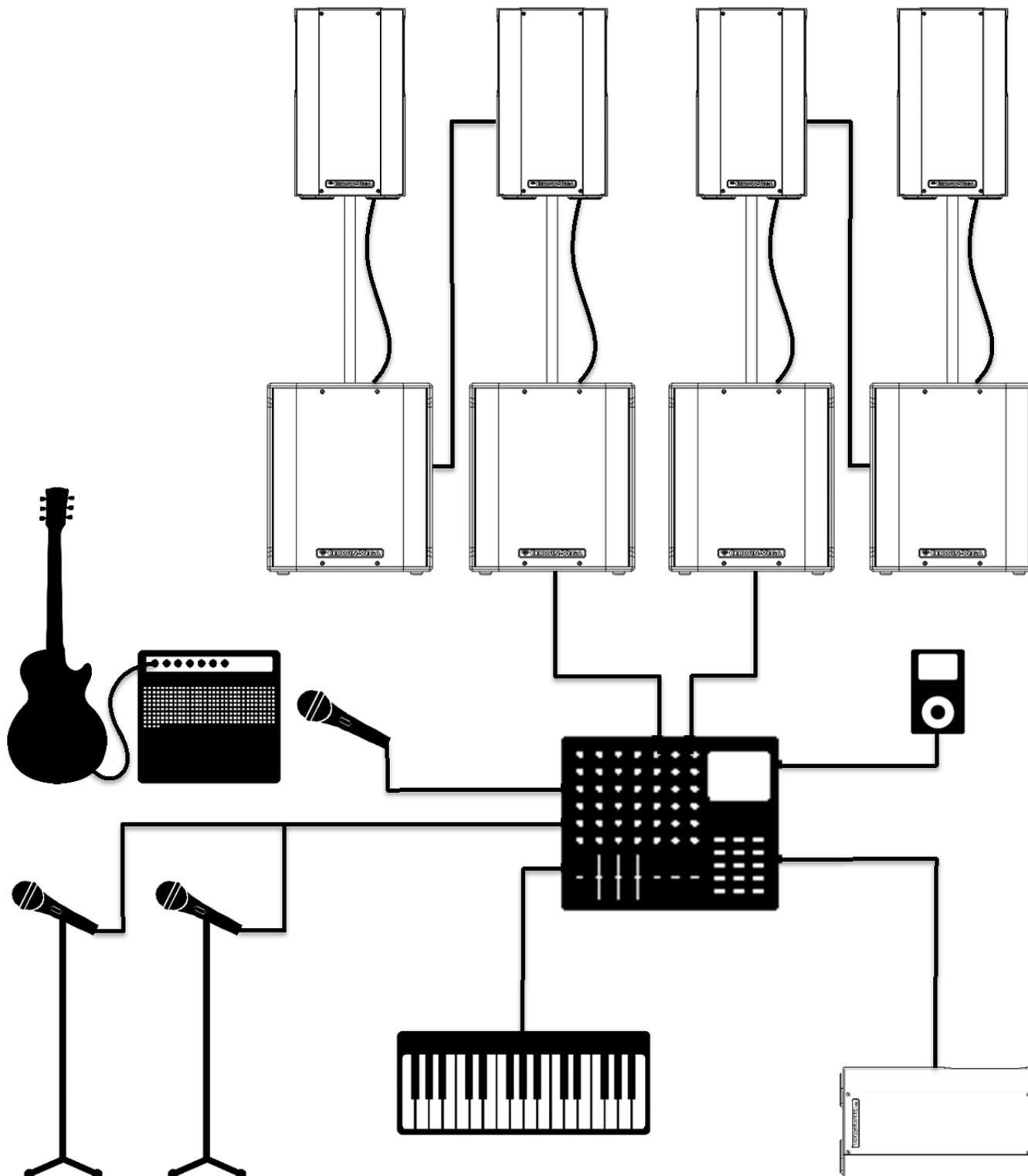
## 使用例 #4 - デイジーチェーン

イベントによっては、観客全員に十分な音量が届くように、複数の CVE スピーカーを、間隔をあけて、もしくは大型ステージの前面に分散して配置しなければならない場合があります。「MIXED OUTPUT」を使用して、各 CVE スピーカーを以下のように直列接続します。



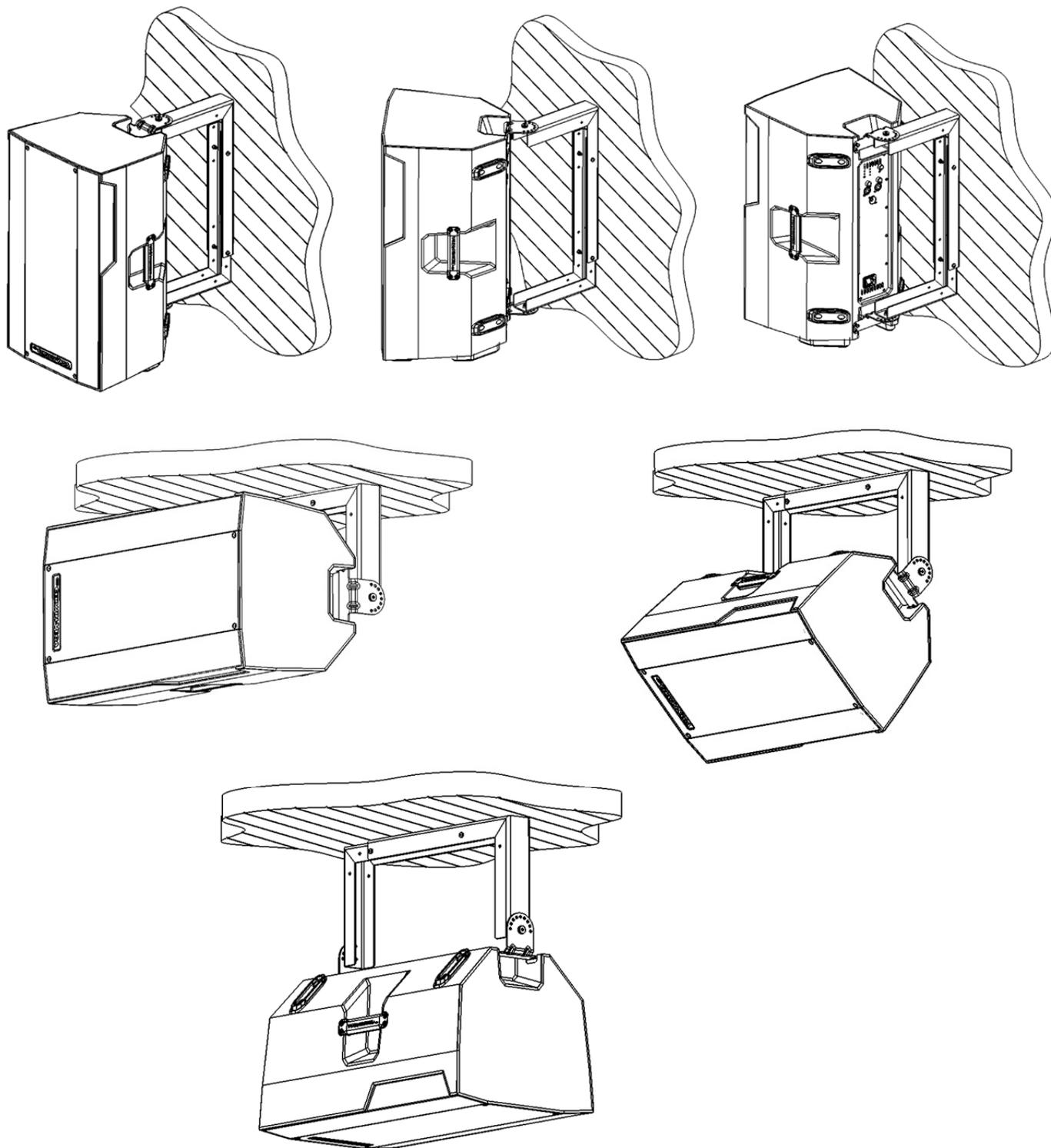
## 使用例 #5 – 広い会場/フロント・オブ・ハウス

広い会場では、サウンドエンジニアがコンソールミキサーを使用してサウンド強化システム全体を制御します。下図は、コンソールミキサーのインターフェイスと、ステージ上の演奏者用オーディオ機器と、観客に向けた複数の CVE スピーカーとのインターフェイス方法を示しています。



## 壁/天井マウント CVE トップ

CVEの壁マウントアクセサリ（別売）を使用すると、CVE トップを天井や壁に取り付けることができます。以下のようにスピーカーをさまざまな位置に取り付けることができます。詳細な手順については、壁/天井マウントアクセサリのユーザーマニュアルを参照してください。



## 保護グリル

CVE スピーカーは、グリルが取り付けられた状態で出荷されます。保護グリルは、輸送、セットアップ、一般的な使用の際におけるドライバーの損傷を防止しますので、取り外さずにそのままにしておくことを推奨します。

グリルを取り外す必要がある場合は、グリルの端にあるネジを外します。グリルはガスケットを損傷しないようにゆっくりと外してください。グリルを元に戻す際は、ガスケットが正しく取り付けられ、使用中にがたつかないようにすべてのボルトがしっかりと締められていることを確認してください。

## トラブルシューティング

問題	原因	解決法
音が出ない	電気の来ているコンセントに接続されていない	スピーカーが、電気の来ているコンセントに接続されていることを確認します。コンセントの種類によってはスイッチを'ON'にする必要があります。ランプをつないで AC 電源が機能しているかを確認してください。
	電源スイッチの位置が間違っている	スピーカー背面にある電源スイッチが ON の位置になっていることを確認します。
	LEVEL 設定が不適切	音が聞こえるまで、LEVEL を上げてください。
	オーディオソースが動作していない、音量が不十分、または接続不良	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーディオ機器の電源がオンになっており、オーディオ信号が可聴音量で出力されるようにレベルが設定されていることを確認します。</li> <li>オーディオソースの出力からラウドスピーカーの入力のケーブルが適正に接続されているかどうかを確認してください。</li> <li>オーディオミキサーの MUTE スイッチがオフになっていることを確認します。</li> <li>ファンタム電源が必要なマイクの場合、外部電源を使用していることを確認します。</li> </ul>
電源がはいっていません	電気の来ているコンセントに接続されていない	スピーカーが、電気の来ているコンセントに接続されていることを確認します。コンセントの種類によってはスイッチを'ON'にする必要があります。ランプをつないで AC 電源が機能しているかを確認してください。
	電源スイッチの位置が間違っている	スピーカー背面にある電源スイッチが ON の位置になっていることを確認します。
	不適切な AC 電源電圧	AC 電源が高すぎないかまたは低すぎないかを確認してください。
	スピーカーのヒューズが切れた	電源をすべて切り、スピーカーの背面にあるヒューズを調べ、必要な場合は交換します。
シャットダウン	スピーカーの自己保護機能が起動している	<ul style="list-style-type: none"> <li>スピーカーは、熱源の近くや直射日光の当たる場所に置かないでください。</li> <li>クリップやディストーションのある信号を持つオーディオソースの使用は避けてください。</li> </ul>

## トラブルシューティング（続き）

問題	原因	解決法
音質が悪い	機器の設定が不適切なので、音が歪む	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部ミキシングコンソールのメーターをチェックして、信号がミキサーでクリップしていないことを確認します。ミキサーのレベルが高すぎる場合は、まずプリアンプのトリム（入力感度）を下げてコンソールのゲイン配分を修正します。それでも信号レベルが十分に下がらない場合は、チャンネルフェーダーを下げてください。それでもレベルが高すぎる場合は、マスターバスを下げてください。ただし、大部分の歪みは、入力が既にクリップしていることが原因です。コンソールで機能している各入力チャンネルをチェックして、入力トリムのそれぞれが各ソースに適正に設定されているかを確認することが重要です。</li> <li>信号源がスピーカーに直接接続されている場合は、入力レベルを上げすぎないようにしてください。いずれかのチャンネルで信号インジケータ LED が赤で点灯する場合、そのチャンネル入力がクリップしているので、入力レベルを下げる必要があることを示します。ソースレベルを下げなければなりません。ソースレベルと入力レベルを下げててもまだ歪みが聴こえる場合は、マスターボリュームを下げてください。</li> <li>EQ がオーバードライブされ信号がクリップして歪みが聴こえることがあるため、オーディオソースやミキサーで低音や高音を過度に上げすぎているか確認してください。</li> </ul>
ケーブルの接続不良。		すべての接続が適正かどうかを確認してください。コネクターの表面が清浄で、異物が付着していないことを確認してください。すべてのケーブルで、被覆が破損していないことを確認します。
ガタガタ音		ガタガタ音がキャスターのホイール（サブウーファーのみ）、ラウドスピーカのスタンドその他の家具、装置のそばにある留め具から来ているかどうかを確認してください。
本管のケーブルの場所が悪い		ライトの調光器に接続されている AC 電源を使用するのは避けてください。AC フィルターボックスまたは異なる AC 回路を使用してください。妨害を防止するために、オーディオ信号ケーブルを、他の電源ケーブルや変圧器や信号ケーブルに沿って配線しないでください。
グラウンド（アース）ループによって生じる 'hum' ノイズ		すべての音量と入力レベルの設定を最低にし、接続されたオーディオ機器からハム音が出ないことを確認します。それでもハム音が出る場合は、すべてのオーディオケーブルの接続を外してください。ハム音が消えたら、接地ループが原因である可能性があります。信号ケーブルをグラウンドリフトすることが（ダイレクトボックスまたは結合変圧器を使用）、音の設定でグラウンドループを削除する最も安全な方法です。すべてのオーディオ機器を、アースが共通になっている同じコンセントに接続します（電源がすべての機器の電力消費を賄えるかどうかを確認して、回路が過負荷にならないようにしてください）。AC 電源と共通のアースの距離ができるだけ短くなるようにしてください。
機器の 'hiss' ノイズ		最良のノイズ除去方法には、平衡接続を使用することです。すべてのオーディオ機器を、アースが共通になっている同じコンセントに接続します（電源がすべての機器の電力消費を賄えるかどうかを確認して、回路が過負荷にならないようにしてください）。

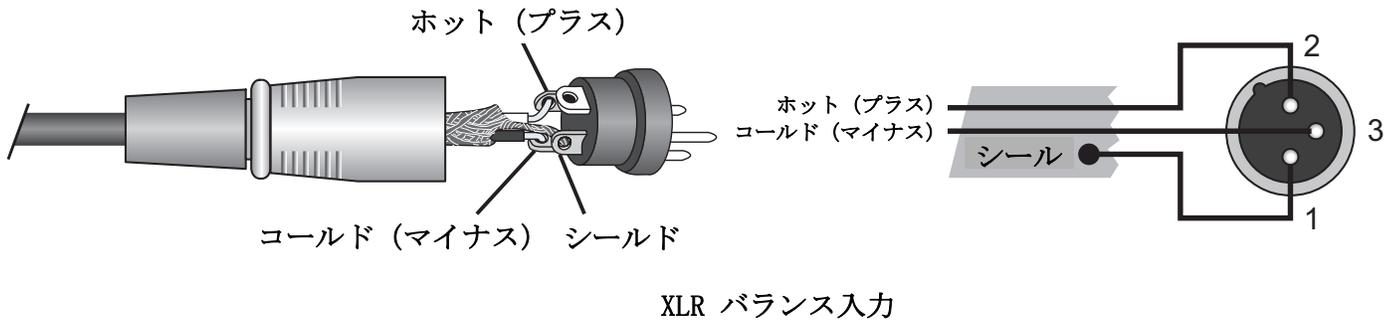
## 手入れとメンテナンス

必ず、スピーカーのプラグを外し、電源を切り、ケーブルをすべて抜いてから、クリーニングやメンテナンスを始めてください。スピーカーの穴に湿気が入らないようにしてください。

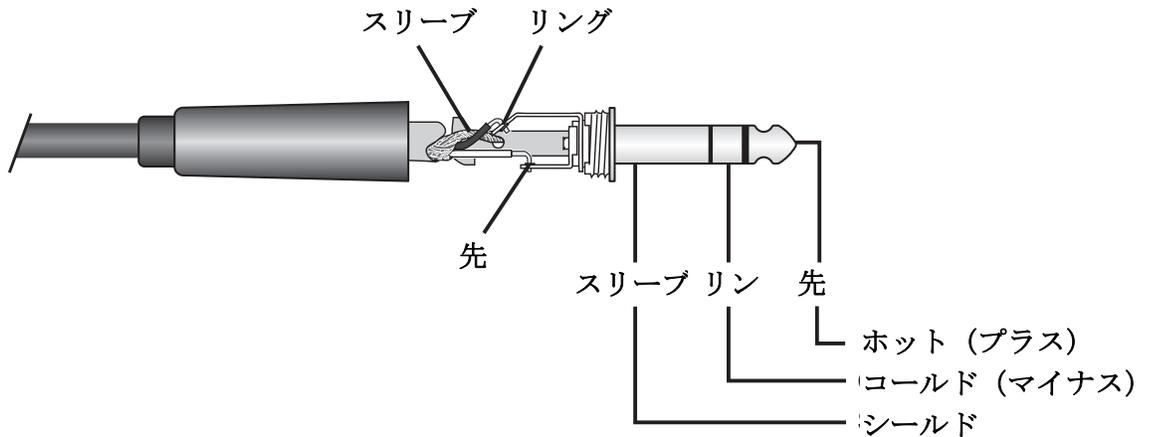
ラウドスピーカーは乾いた布でクリーニングすることができます。化学性のクリーニング剤は、ラウドスピーカーの仕上げを損傷する場合がありますので、使用を避けてください。ドライバーを傷めたり、外囲器内に異物が入る恐れがあるため、直接空気を吹き付けないでください。

冠水の危険性がある場所や大量の埃が積もりやすい場所にスピーカーを保管しないでください。ラウドスピーカーを保管したり、輸送したりする場合には、カバーを付けることを勧めます。

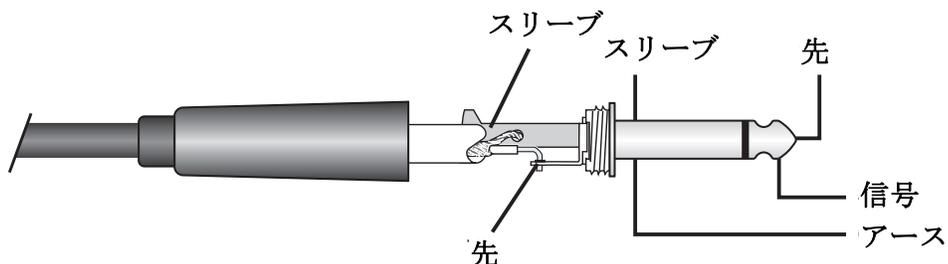
## ケーブル接続



### 1/4" TRS バランス



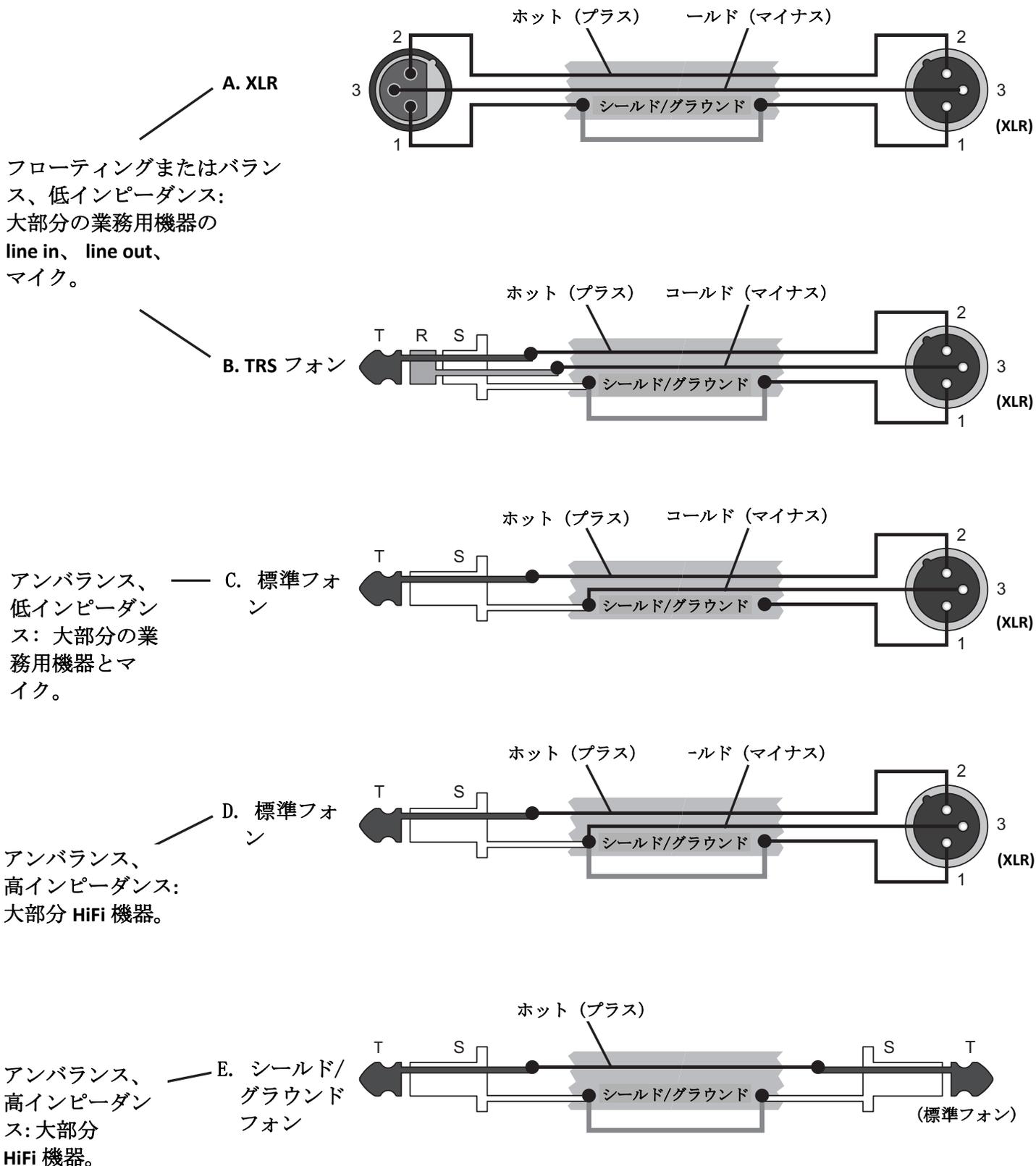
### 1/4" TS アンバランス



リモート機器の説明

ケーブル

ケーブルのリモート側  
(コネクタの種類)



## 保証

Gibson Pro Audioのブランド（Stanton、KRK、Cerwin-Vega）をお買い上げいただきありがとうございます。私共はお客様の満足を非常に大切なものと考えます。私共は自らの仕事の品質を支持することを誇りにしており、お客様に信頼されることを非常に嬉しく思います。お客様にお買い上げの製品を登録していただくことで、私共の最新の進歩についていち早くお客様にお知らせすることができます。

アメリカ合衆国にあるギブソン・プロ・オーディオ正規販売店からお買い上げいただいた商品を登録するにあたっては:

<http://www.gibson.com> にアクセスし、オンライン登録を行なってください。

または保証カードを下記住所までお送りください:

Gibson Customer Service  
309 Plus Park Blvd.  
Nashville, TN 37217

ご質問がある場合は下記カスタマーサービスまでご連絡ください:

1-800-4GIBSON (1-800-444-2766)

メールアドレス: [service@gibson.com](mailto:service@gibson.com)

アメリカ合衆国の国外のギブソン・プロ・オーディオ正規販売店からお買い上げいただいた商品については、お客様の保証の登録、保証の問題のすべての取扱や解決に関してはお買い上げ先の販売店に連絡してください。

### ギブソン・プロ・オーディオの保証

ギブソン・プロ・オーディオ（Stanton、KRK、Cerwin Vega のブランドを含む）の製品に、不適切な素材や作業のために不具合がある場合は、ギブソン・プロ・オーディオまたはアメリカ合衆国にあるギブソン・プロ・オーディオの正規サービスセンターが、自らの裁量のもとに適正であると考える場合、不具合の修理または製品の交換をします。

保証期間（売買証書にあるお買い上げ日から）:

Stanton

Stanton社製品のすべてについて1年

KRK

すべてのスタジオモニターについて3年。

音場補正デバイスを含むすべてのヘッドホンとコンピュータオーディオデバイスについて1年。

Cerwin-Vega

パッシブスピーカーのすべてについて5年。

アクティブスピーカーシステムのすべてについて3年。

ミキサーのすべてについて3年。

ギブソンは、当初の出荷日から90日間、パーツ交換と修理を保証します。

万一、修理の目的でGibsonまたはGibson Pro Audioの正規サービスセンターで保管されている間にお客様の製品が破損・紛失・損傷した場合、Gibsonでは、元の購入価格を上回らない範囲で、同一または類似スタイルの製品と交換いたします。コレクター向け全額保険など、商品を対象とする保険には、所有者が自費で加入しなければなりません。

商品を安全・迅速に返品するために、当初の出荷時の箱や梱包材をお使いください。ギブソンは、不十分または不適正な梱包のために出荷中に起こった損害については、責任を負うものではありません。

この保証は最初に販売店で購入した人のみに適用され、続く所有者に譲ったり、与えたりすることはできません。お客様の保証を有効にするため、以下の保証範囲に先立つ条件として、お客様は当初の購入日から15日以内に保証を登録する必要があります。保証請求の際には、必ず、購入証明書または領収書を添えてください。

この保証は以下の制限があります：

この保証には以下のものには適用されません。

1. 何らかの方法で改ざんまたは変更された商品、あるいはシリアルナンバーが改ざんまたは変更された商品。
2. 保証書が改ざんされた、または偽りのデータが与えられた商品。
3. 誤用、過失または不適切な取扱が原因で損傷を受けた商品。
4. 事故、洪水、火災、落雷などの天災によって破損した製品。
5. 何らかの種類の出荷の損傷。
6. 極度の湿度や温度のもとに置かれた商品。
7. 正規でない販売店で購入した商品、または、正規でない修理またはサービスを受けた商品。

ギブソンはどんなものであっても他の明示的な保証を行いません。本保証の規定を超える商品性および特定目的への適合性を含む、黙示的な保証は、放棄され、本保証から除外されます。州や国によって黙示的な保証の除外や制限が認められていないところもあり、上記は適用されないことがあります。

契約上、不正行為上を問わず、利益または事業の損失による損害、商品の使用または性能に結果する損害を含む、購入者または第三者によりが被った、特別損害、間接損害、派生損害、付随的損害について、ギブソンまたは正規の代理人がそのような損傷の可能性について警告を受けても、ギブソンは責任を負わないものとします。また、ギブソンは上述事項から発生する、または関連する経費、請求または訴訟に対してはいかなるものも責任を負うものではありません。

アメリカ合衆国の国外のギブソン・プロ・オーディオ正規販売店からお買い上げいただいた商品については、お客様の保証の問題のすべての取扱や解決に関しては商品のお買い上げ先の販売店に連絡してください。これらの購入については、上述の保証は適用されません。

## 保証サービスを得るには

### アメリカ合衆国の国外における保証サービス:

保証による修理を始めるには、商品をお買い上げになったギブソン・プロ・オーディオ正規販売店に連絡し、販売者の返品/保証方針に従ってください。

### 米国の認定Gibson Pro Audio販売店から購入した製品の保証サービス

お買い上げのギブソン・プロ・オーディオの商品に不具合があった場合、販売店または所有者が1-800-4GIBSON (1-800-444-2766) のカスタマーサービスに電話し、カスタマーサービス担当者から返品許可番号を得る必要があります。そのような事前の返品許可がない商品は返品することができません。返品許可番号は出荷パッケージの外側に明記する必要があります。カスタマーサービス担当者は住所やその他の指示を与えます。顧客サービス担当者より通知された住所に、運賃・保険料前払いで製品を発送してください。ギブソン・プロ・オーディオの正規サービスセンターのみが、保証サービスを行なうことができ、非正規の業者が行なったサービスは本保証の適用となりません。ギブソンは、非正規の業者が行なったサービス、またはギブソンまたはギブソン・プロ・オーディオの正規サービスセンターが行わなかった保証適用外のサービスによって引き起こされた欠陥や損傷について責任を負うものではありません。

ギブソンに連絡するときは、商品の不具合について書いた完全な説明を送る必要があります。保証適用外の作業が必要とされる、または推奨される場合は、そのような作業が始まる前に、お客様が見積書を得て承認する必要があります。保証対象外の作業の場合、直ちに、送付された見積書を検討の上、正規Gibson Pro AudioサービスセンターやGibsonに修理を行うか否かをお知らせください。本保証が適用されるサービスを得るために、お客様には保証適用外の作業を購入することは求められません。到着した商品を点検すると、ギブソンまたはギブソン・プロ・オーディオの正規サービスセンターは、お客様または販売店に作業完了日のおおよその日付を通知します。修理された商品またはパーツは、お客様または販売店に、運送費先方払い、保険付きで返却されます。

本保証に述べられていることを除いて、代理店または業者のいずれもギブソンのために責任を負うことは許可されません。本保証はお客様に特定の権限を与えるものですが、その権限は州や国によって異なります。

詳細については、次の住所宛てに手紙でお問い合わせください。

Customer Service Dept.,  
Gibson Customer Service  
309 Plus Park Blvd.  
Nashville, TN 37217

もしくは次の電話番号までお電話ください。

1-800-4GIBSON (1-800-444-2766)